



1 基本設計の建物整備方針

■災害対応拠点として、大規模災害時にも機能維持が可能な施設計画

- ・ 免震構造の採用による構造的な安全性の確保と、2回線受電や自家発電設備等による設備的な機能維持の実現
- ・ 駅のホームや建物周辺から訓練の様子が直接見えることによる、防災意識や安心感の向上

■機能性を重視した合理的で誰もが利用しやすい平面計画

- ・ 施設複合化により、建物に必要なエントランスや階段・EVなどの共用空間を共有することでの床面積の合理化
- ・ 今後想定される大規模自然災害等において、本庁舎の災害対策本部代替機能を確保
- ・ 各機能を集約しシンプルに配置し、無駄のない経済性の高い施設を実現
- ・ わかりやすいサインや、ゆとりのある廊下・多機能トイレの設置等、誰もが利用しやすいユニバーサルデザイン

■周辺環境に配慮した外観計画

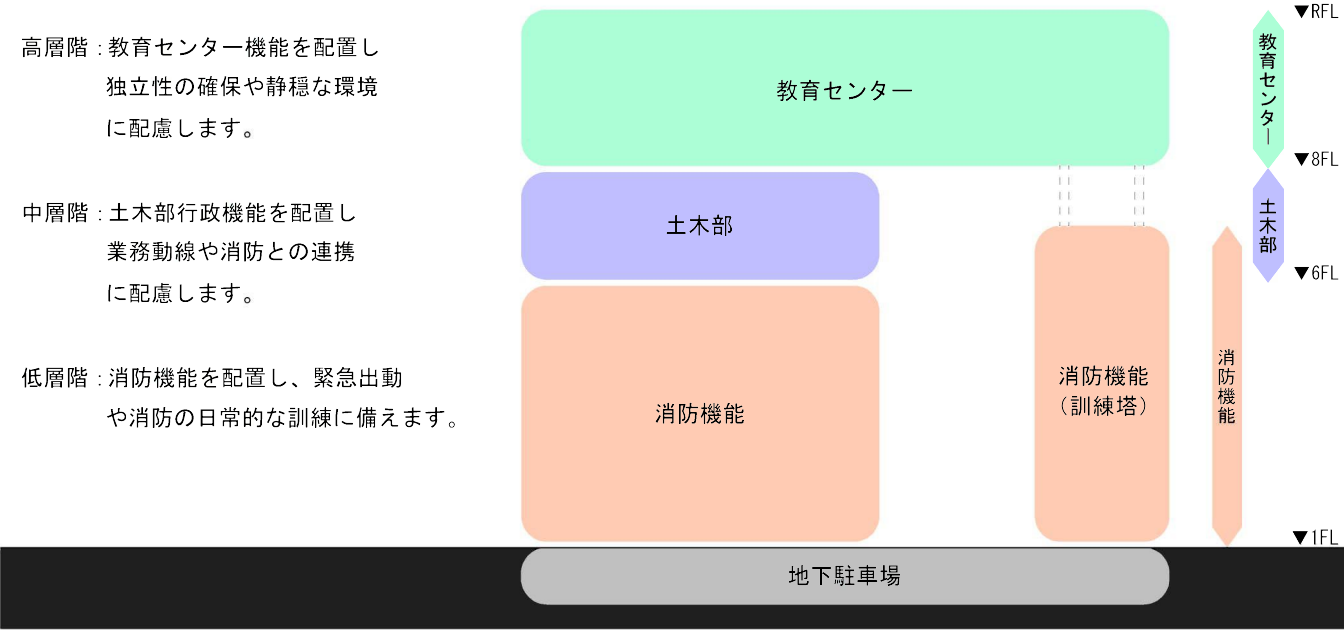
- ・ 緑豊かな千里ニュータウンに位置する施設にふさわしい、敷地周辺の街路樹をモチーフとした外観デザインの採用

■地球環境に配慮した施設計画

- ・ 西日対策の縦型ルーバーの採用や、太陽光発電・高効率空調機・昼光利用照明等による環境配慮
- ・ 建物内に積極的に大阪府内産の木材を採用し、循環型社会の形成に貢献

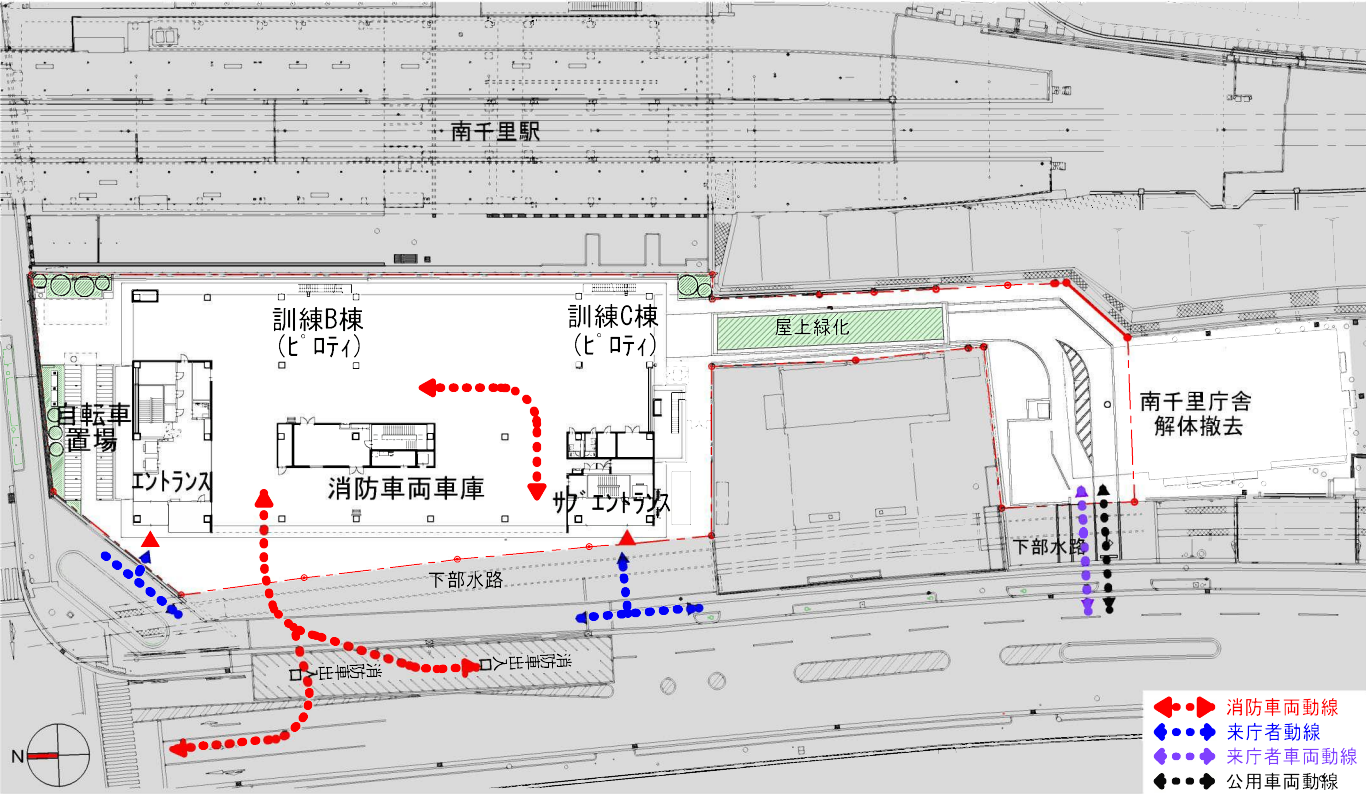
2 計画概要

建物用途	消防署、庁舎、教育センター
建築面積	2,316.53㎡
延床面積	17,225.98㎡
構造規模	コンクリート充填鋼管構造（一部鉄骨造） 地下1階 地上10階
建物高さ	44.79m
駐車・駐輪台数	自動車30台（地下） バイク57台（地下47台、地上10台） 自転車 68台



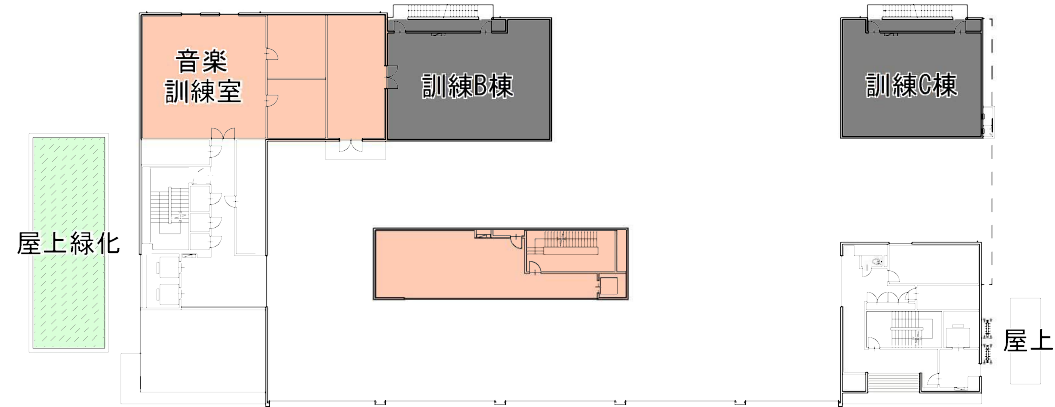
3 配置計画

- ・ 府道吹田箕面線への消防車両の出入が迅速に行えることを第一に考え、南千里駅からの人の流れや、最適な消防訓練スペースの確保に配慮した配置計画とします。
- ・ 一般車両は、南千里庁舎北側通路から地下駐車場へ進入する計画とします。
- ・ 緑豊かな千里ニュータウンの新しい庁舎として、交差点や南千里駅のホームから緑がうかがえるような緑化計画とします。



4 平面計画①

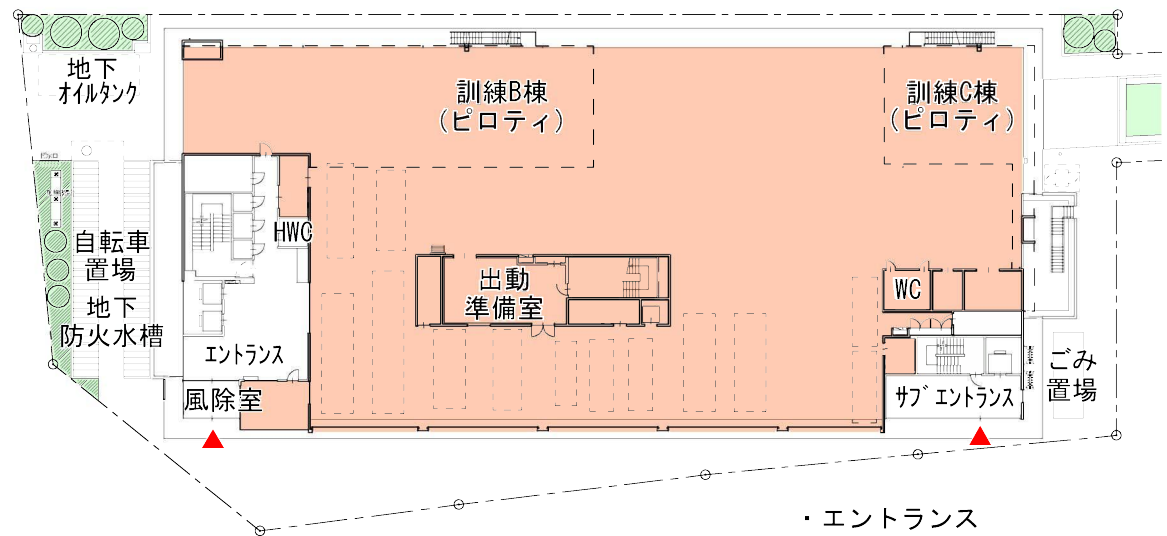
※外観・内観等のイメージや詳細部分については、変更になる場合があります。



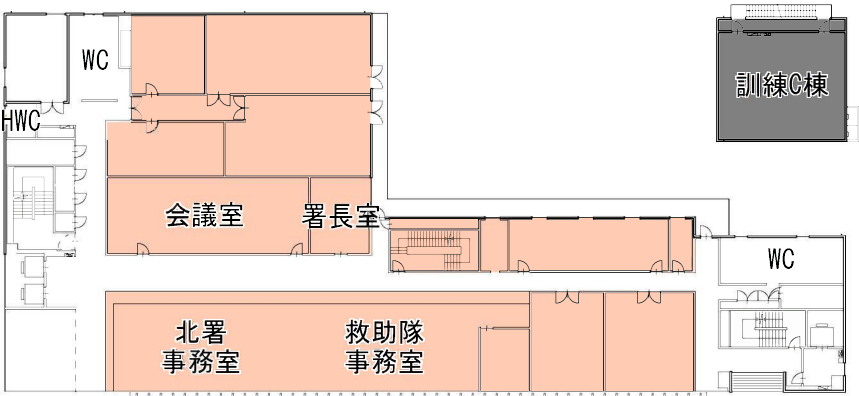
・音楽訓練室



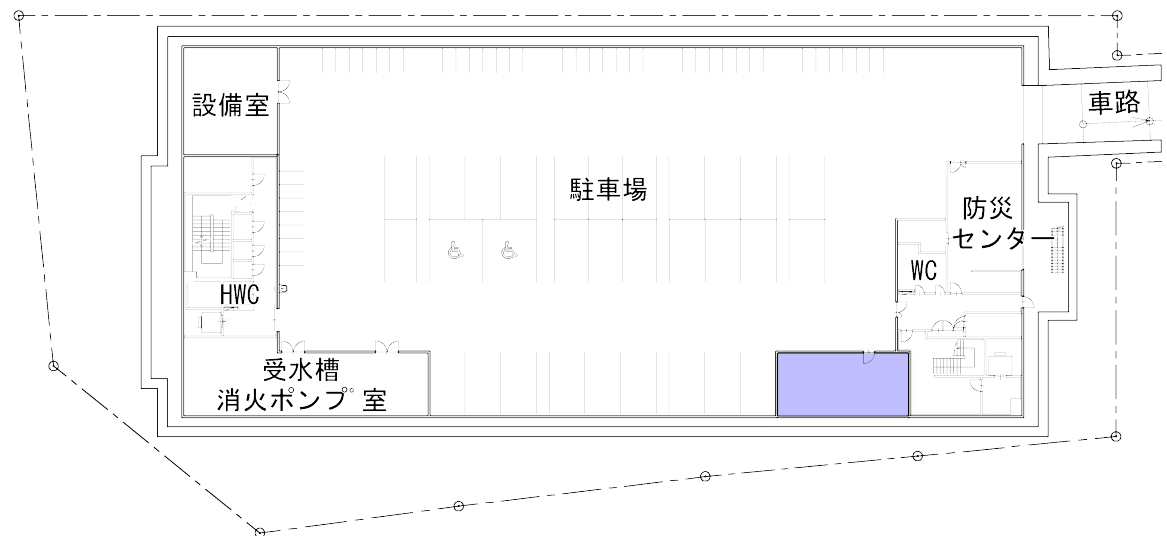
・指令センター専用エリア
事務室・仮眠室・食堂等



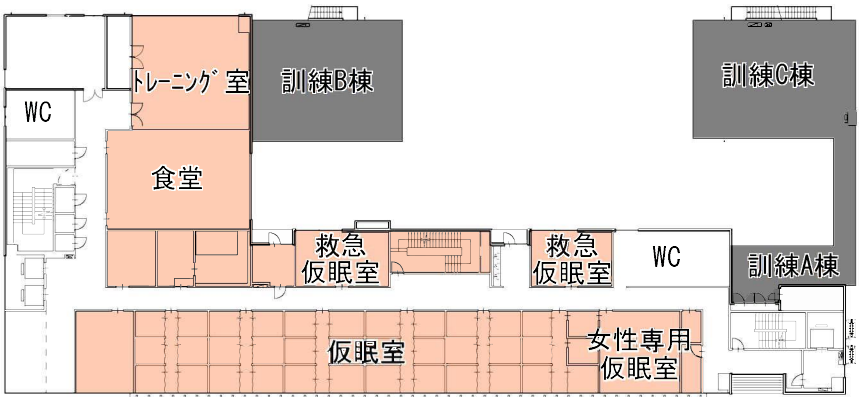
・エントランス
・消防訓練エリア
・消防車両駐車場



・北署事務室
・救助隊事務室



・来庁者用駐車場 10台
・公用車駐車場 20台



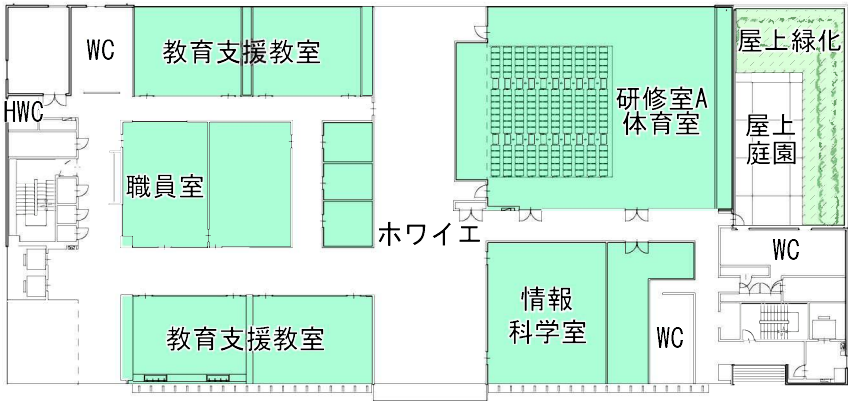
・消防専用エリア
仮眠室・食堂
トレーニング室等



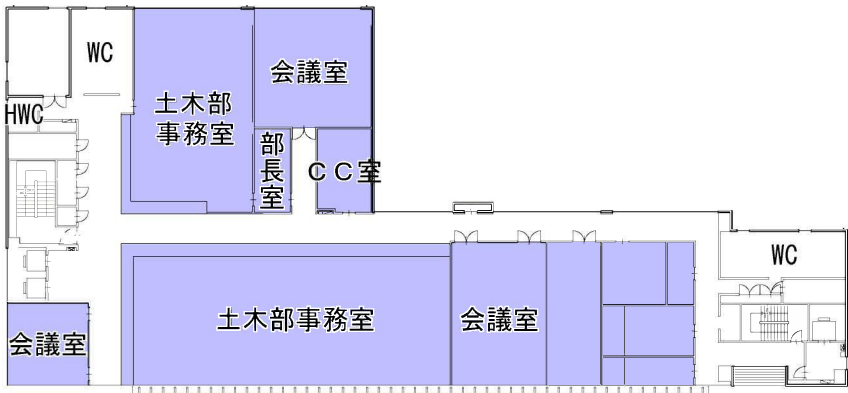
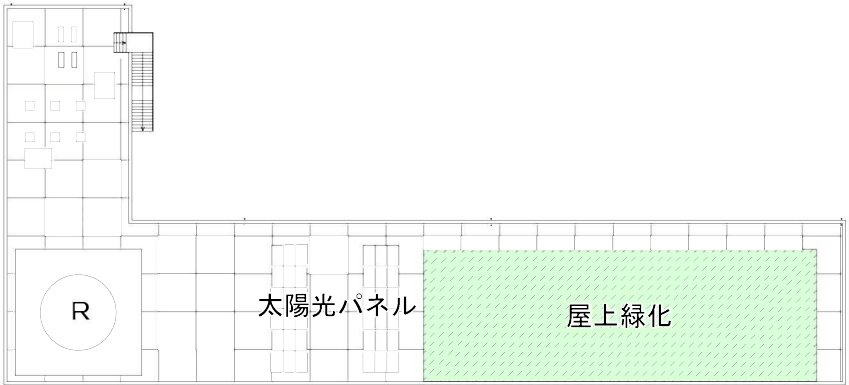
- 凡例
- 消防機能
 - 消防機能 (訓練塔)
 - 土木部
 - 教育センター

4 平面計画②

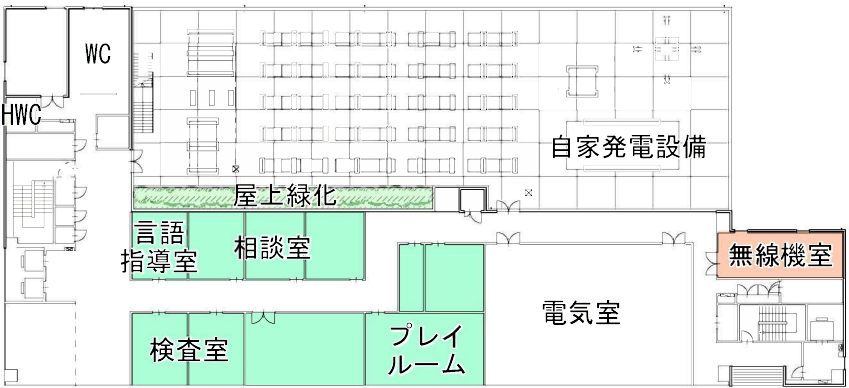
※外観・内観等のイメージや詳細部分については、変更になる場合があります。



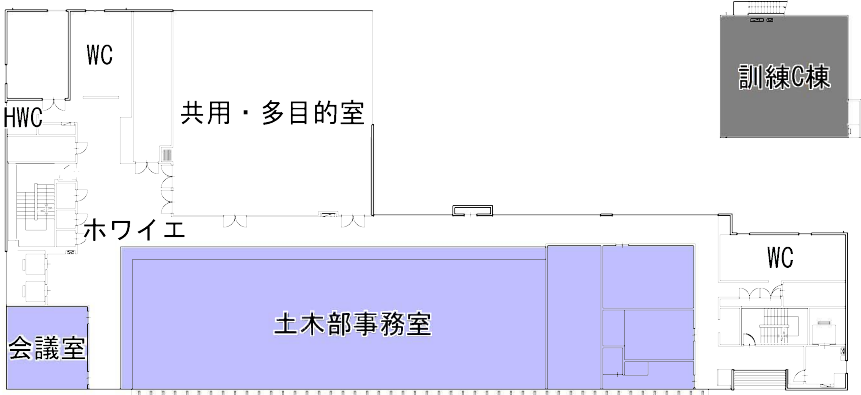
教育センター
・教育支援教室
・教職員研修室



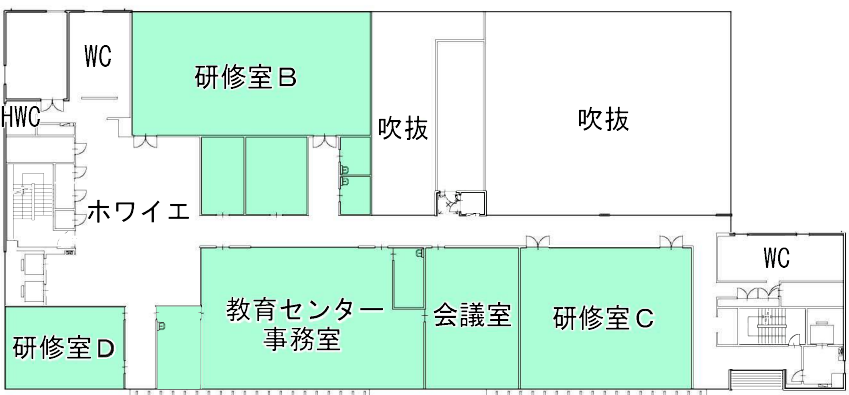
土木部事務室
・会議室



教育センター
・相談室



土木部事務室
・共用・多目的室
・会議室



教育センター
・事務室
・教職員研修室



- 凡例
- 消防機能
 - 消防機能（訓練塔）
 - 土木部
 - 教育センター

5 外観計画

- ・敷地周辺は街路樹が整備され、連続した景観構成となっているため、建物西面のカーテンウォール部分に街路樹をモチーフとした縦型ルーバーを設置します。
- ・敷地のある交差点は、まち角広場が点在し散策路もあることから景観資源となるよう、ガラスのカーテンウォールや木製ルーバー等によりシンボル性を高めます。



北西側外観パース



南西側外観パース



ルーバー詳細イメージ

6 木材利用計画

■施設利用者へ安らぎを提供

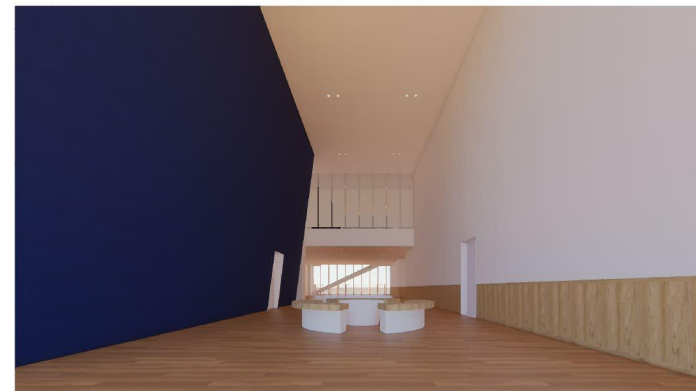
- ・教育支援教室や研修室、相談室等がある教育センターは、児童・生徒、相談者など様々な利用者が訪れるため、居心地が良く安らぐことができるよう床・腰壁の木質化を行います。
- ・一般的な事務エリアのEVホール廻りや会議室、消防部分の食堂、仮眠室の腰壁に大阪府内産の木材を使用する計画とします。

■あたたかみのあるエントランス空間の創造

- ・エントランスホールについては、メイン・サブともに天井を大阪府産材の木製ルーバー（不燃）とします。
- ・無機質になりがちな庁舎のエントランスを、天然の木を感じるあたたかみのある空間とし日常的な出入りを快適なものとします。



1階エントランス



8階ホワイエ

7 防災計画

■災害対応拠点施設としての施設整備

- ・今後想定される大規模自然災害等において、本庁舎の災害対策本部代替機能を確保します。
- ・災害対応拠点としての活動を行う諸室には非常電源によって空調を行います。
- ・屋上には、ヘリコプターがホバリングにより救助活動が行える緊急救助用スペースを設けます。

■災害対応拠点施設としての耐震性能

- ・大地震時に建物への被害を最小限に抑えることが期待できる免震構造を採用します。
- ・消防訓練スペースや各階の事務室等に大きな空間を実現するために、CFT柱やトラス架構を採用します。

■ライフラインの維持に配慮した設備計画

- ・電気を受電方式は2回線受電方式とし、本線が遮断しても予備線に切り替えることで機能を維持します。
また、主要諸室及び、廊下等の照明・コンセントの一部は、自家発電設備にて非常電源を確保します。
- ・空調の熱源エネルギーは、熱源供給が途絶えることがないように電気とガスの2種類とします。

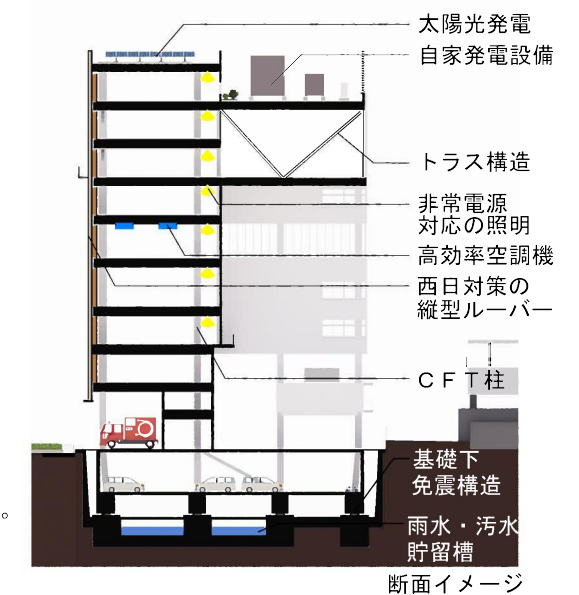
8 環境計画

■自然エネルギーの有効利用

- ・大阪府建築物の環境配慮制度において高い評価が得られるよう先進的な環境設備・機能を積極的に導入します。
- ・自然エネルギーの有効利用と地球環境への配慮を目的とし、太陽光発電設備を設置します。
- ・雨水利用システム及び井水利用システムを導入し、トイレ洗浄水等の雑用水として使用します。

■省エネルギーに配慮した施設計画

- ・建物西側のカーテンウォールには、西日対策として縦型ルーバーを設置します。
- ・屋上の積極的な緑化により、建物の表面温度を低減させます。
- ・エコマテリアルを採用するなど、環境にやさしい材料を使用します。
- ・空調機器は、省エネ・環境性の観点から高効率機器を採用します。



9 工事工程

令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)
		建築工事	
		◀庁舎部分引渡し	
		移転	開設
		南千里庁舎解体撤去工事	